

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年9月19日(2013.9.19)

【公開番号】特開2012-54812(P2012-54812A)

【公開日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-011

【出願番号】特願2010-196646(P2010-196646)

【国際特許分類】

H 04 R 3/00 (2006.01)

G 10 K 11/178 (2006.01)

H 04 R 1/10 (2006.01)

【F I】

H 04 R 3/00 3 2 0

G 10 K 11/16 H

H 04 R 1/10 1 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月13日(2013.8.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

【図1】音漏れの発生とその低減について説明する図である。

【図2】音漏れの発生とその低減について説明する図である。

【図3】音漏れの発生とその低減について説明する図である。

【図4】音漏れの発生とその低減について説明する図である。

【図5】本発明を適用した音声再生装置の一実施の形態の構成例を示す図である。

【図6】音声再生処理を説明するフローチャートである。

【図7】音声再生装置の他の構成例を示す図である。

【図8】音声再生処理を説明するフローチャートである。

【図9】音声再生装置の他の構成例を示す図である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

つまり、バッファ37Rと連結点ZRとの間に、増幅器91Lに対応する増幅器91Rを設ければよい。この増幅器91Rは、バッファ37Rから供給された右チャネルの音声信号に予め定められた係数1/Nを乗算して、その結果得られた信号を連結点ZRに出力する。これにより連結点ZRでは、A/D変換部41Rからフィルタ処理部42Rに供給される信号に、増幅器91Rからの信号が加算されることになる。